

## EA354BF-51、EA354BF-52 耐酸・耐アルカリ手袋

	EA354BF-51	EA354BF-52
サイズ	Lサイズ	LLサイズ
材質	表:クロロスルホン化ポリエチレン 裏:化繊	
全長	350mm	
厚み	0.8mm	



**特長** 耐酸性...硫酸、塩酸、弗酸などの各種酸類に対して優れた性能を有する  
耐アルカリ性...苛性ソーダ、苛性カリ、アンモニア水等の各種アルカリに類に優れた性質を有する  
柔軟性...とても柔らかく、被膜自体の伸び率は500%以上

### 酸・アルカリ浸漬成績表

薬品名	評価	1時間後の強度変化率	薬品名	評価	1時間後の強度変化率
35%塩酸		0~10%	50%クロム酸		0~10%
69%硝酸(硝酸1.42)		11~20%	王水		21~30%
60%硝酸(硝酸1.38)		0~10%	50%水酸化ナトリウム		0~10%
96%硝酸		0~10%	50%水酸化カリウム		0~10%
46%フッ酸		0~10%	20%アンモニア水	×	31%以上
99%酢酸(氷酢酸)		0~10%	10%アンモニア水		0~10%
85%リン酸		0~10%	34%過酸化水素水		0~10%

評価はあくまでも試験レベルですので、目安として判断してください。

### 耐薬品性試験

各薬品に浸漬後、引張試験により評価する

- 1.1500mlの広口共栓試験ビン(フッ酸、過酸化水素水はポリビン)に各試薬400mlを入れ、中側に水100ml(浮き防止用)入れた手袋を漬けて常温(20 程度)で1時間浸漬させた。
- 2.取出し後、水でよくすすぎ十分に風乾させた。
- 3.各手袋1個の親指平行方向に二号形ダンベルで試験片を8片切抜いた。
- 4.引張試験機(引張強度)に供し、8片の最大最小を省いた6片の平均値により保持率を算出(ゴムの強度が出ずに破断したデータは削除した)
- 5.データはブランクを100%として保持率として算出

注1.同一の薬品であっても手袋の使用法・時間などの条件の相違により耐久度は変化しますので、一応の目安としてください。

注2.酸にご使用の場合、強度が低下しますので、作業時には注意してください。

注3.上表記載以外の薬品を取扱う際は、その薬品の内容を把握した上で、各使用現場にてあらかじめテストを行い、安全を確認してからご使用ください。不明な場合はお問い合わせください。

### ご使用の際は必ずお守りください

**危険** 1.酸、アルカリは皮膚の表面や内部を侵します。人体に触れるととても危険なので、使用前・使用中には必ず、手袋にヒビ割れ・ピンホール・破れなどが無いことをよく確かめてください。

2.手に異常を感じたら、直に使用を中止してください。

3.扱った酸やアルカリが付着した手袋で、人体や他の器物に触れると危険です。

4.電気作業には使用しないでください。感電する危険があります。

**警告** 1.酸・アルカリの長時間使用は大変危険です。

手袋にヒビ割れ・ピンホール・破れなどが無くても8時間以上連続使用しないでください。  
(手袋の管理状況、使用頻度、使用条件などにより、耐久性は変化します)

2.有機溶剤には使用しないでください。

3.工業用手袋ですので、食品や医療には使用しないでください。

4.尖った物や刃物で手袋にキズをつけないように注意してください。  
キズができると酸やアルカリが侵入したりして危険です。

5.0~40 の範囲内で使用してください。

**注意** 1.液体が付着すると滑りやすくなりますので、注意してください。

2.使用中に赤み・はれ・かゆみ・刺激などの異常が現れた時は直ちに使用を止めてください。  
皮膚科専門医へのご相談をお勧めします。

**保管** 使用後は汚れをよく落とし、十分に水洗いしてから陰干してください。

手袋を長時間日向に放置すると劣化が促進されます。

保存する場合は十分に乾燥させて直射日光を避けた風通しのよい所で保管してください。